

BRIDGE KIDS PROGRAMS

BRIDGE Challenge Trip

ブリッジ チャレンジトリップ

引率者ガイドライン

派遣先: _____

名前 : _____

APCC

NPO法人 アジア太平洋子ども会議・イン福岡

【研修開催日程】

※ 12月23日時点での予定の為、今後、変更の可能性あります。その際は事前に改めてご案内します。

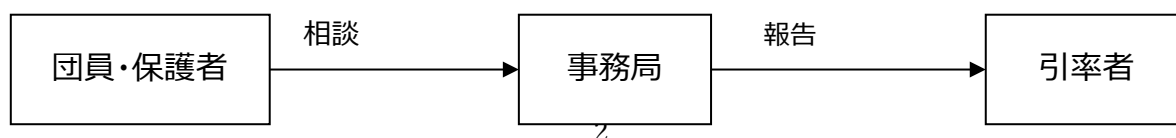
日程	研修名	場所
12月23日(土)	引率者研修会①	中央市民センター 第一会議室
1月7日(日)	引率者研修会②	中央市民センター 第二会議室
	チャレンジトリップ部会	
1月21日(日)	全体研修会	中村学園大学 講堂
2月4日(日)	国別研修会①	中央市民センター
	チャレンジトリップ部会	
2月23・24日(祝金・土)	宿泊研修会	海の中道 青少年海の家
3月3日(日)	引率者研修会③	中央市民センター
	チャレンジトリップ部会	
3月10日(日)	結団式	中央市民センター
3月13日(水)もしくは14日(木)	最終確認会	APCC 事務局
3月27日(水)～4月2日(火)	現地派遣期間	
帰国後随時	各種精算	APCC 事務局
4月14日(日)	国別研修会②	中央市民センター
	チャレンジトリップ部会	
4月28日(日)	報告会	中央市民センター

【出欠連絡に関して】

団員・引率者共に**研修はすべて参加必須**となっていますので、**欠席・遅刻は認められません**。ただし、不測の事態によって止むを得ず欠席・遅刻をしなければならない場合は、速やかに APCC 事務局へご連絡ください。

また、団員・保護者には、遅刻・欠席について相談がある場合は、直接事務局に連絡を入れていただくようお願いをしていますので、もし、保護者から引率者に連絡があった場合は、保護者に事務局へ連絡を入れるようお願いいただき、必ず事務局に報告をお願いします。

★連絡の順番



目次

1. ブリッジ チャレンジトリップについて	6
2. ブリッジ チャレンジトリップの運営	6
3. チャレンジトリップ部会	6
4. 現地窓口機関、旅行手配について	7
5. 引率者の仕事概要	7
6. 派遣団の構成	8
7. 活動をより円滑にするためのルール	8
8. APCC 事務局を利用する際の注意点	9
9. 写真・SNS の取り扱いルール	10
10. 国旗の取り扱いについて	11
11. 団員保護者との連絡手段	12
12. 研修の目的	12
13. 国ごとに実施する研修について	12
14. 各研修・式典のスケジュール及び内容について	13
15. 国内活動費について	23
16. 現地通貨の両替	23
17. 携帯電話の海外ローミング設定について	25
18. 最終確認会	26
19. 出発までに準備すること	27
20. 現地窓口機関に伝えていること	28
21. 引率者の携行品	29
22. 出発	30
23. 帰国	30
24. Gmail の使い方と注意点	31
25. 保護者からよくある質問と回答例	34
26. APCC 用語集	35
27. テーマソング : We are the BRIDGE	36

※外務省 HP「海外安全 虎の巻」
(海外での安全に関する資料)



Asian-Pacific Children's Convention in FUKUOKA (APCC)

アジア太平洋子ども会議・イン福岡 (APCC) とは？

～子どもたちの笑顔あふれる世界の実現へ～

「NPO 法人 アジア太平洋子ども会議・イン福岡」とは、1989 年に、福岡市制 100 周年を記念して開催された「アジア太平洋博覧会（通称：よかトピア）」の参加事業としてスタートし、福岡をベースに展開している民間レベルの草の根国際交流事業団体です。「APCC」は英語名 “Asian-Pacific Children’s Convention in FUKUOKA”、その頭文字を取り、親しみをこめて呼ばれる略称でもあります。

これまでに約 55 の国と地域から 1 万人近い子ども達を福岡に招き、3000 人以上の福岡の子ども達を約 40 の国と地域に派遣してきました。各地でのホームステイや交流プログラム、学校での体験学習などを通して、言葉や習慣の違いなどに触れ、お互いを分かり合う「OMOIYARI（思いやり）」の心を育んでいます。そして、2018 年、30 周年を迎えたことを機に、事業総称を『BRIDGE KIDS PROGRAMS』と改め、より多くの福岡の子ども達が参加できるような交流機会の拡充を図っています。



APCC ビジョン

わたしたち APCC メンバーは
OMOIYARI の心をもった地球市民となり
子どもたちの笑顔あふれる世界を実現します

We, as members of APCC,
will become global citizens with an 'OMOIYARI' spirit
creating a more peaceful world
where the smiles of children abound.

APCC の事業について

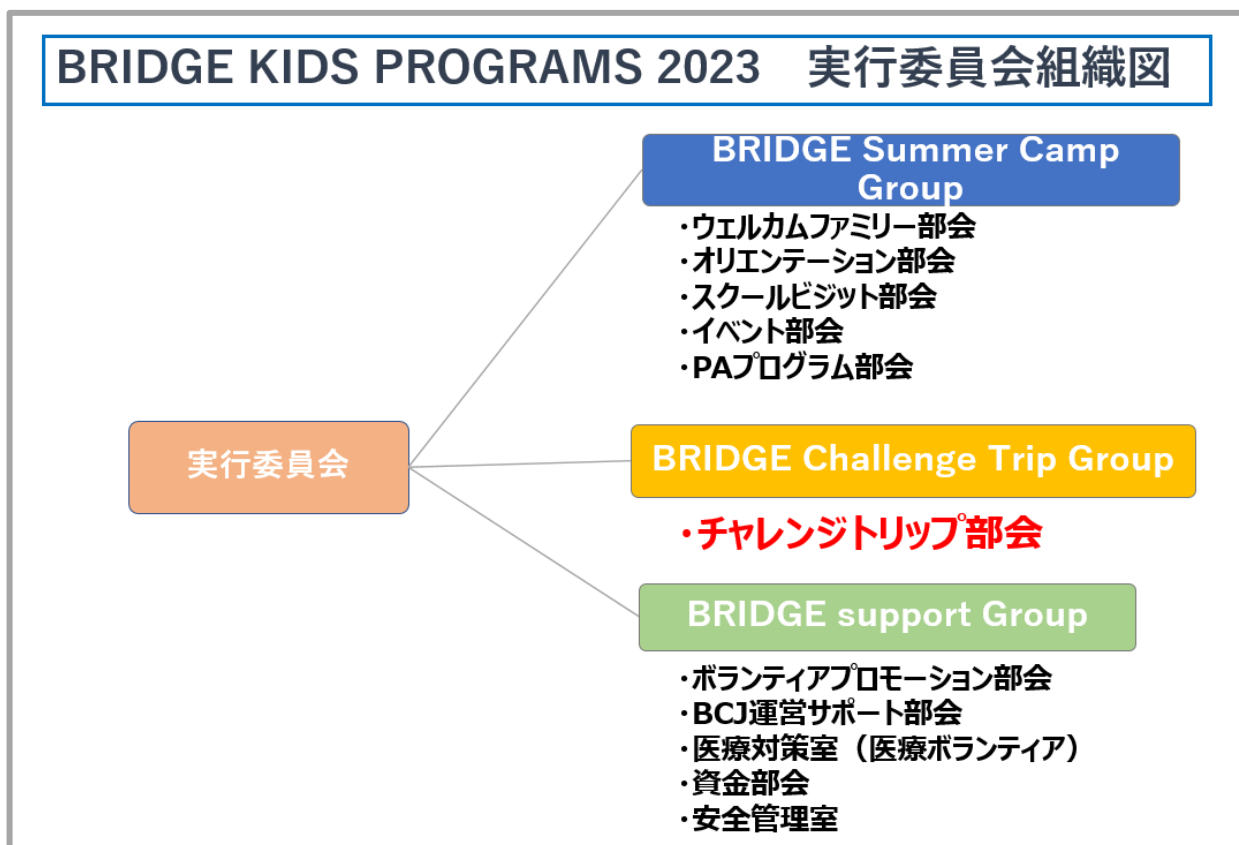
NPO 法人 アジア太平洋子ども会議・イン福岡は、夏にアジア太平洋諸国・地域の 11 歳の子ども達を“こども大使”として福岡に招いて一般市民と交流する『BRIDGE Summer Camp (ブリッジ サマーキャンプ)』、春休みや夏休みに福岡の子ども達を海外に派遣する『BRIDGE Challenge Trip (ブリッジ チャレンジトリップ)』の 2 大事業を柱とした『BRIDGE KIDS PROGRAMS』を実施しています。また、国境を超えた地球市民のネットワーク組織『BCIO (BRIDGE CLUB International Organization)』を作り、各国で活動を促すなど、事業を通して、子ども達の笑顔あふれる世界の実現に向けて活動しています。

BRIDGE KIDS PROGRAMS の運営について

公的機関からの助成金や民間企業などの協賛、APCC 支援の会からの資金援助に支えられながら、『NPO 法人 アジア太平洋子ども会議・イン福岡 (APCC)』が運営しています。そして、この事業を支える大切な存在が **市民ボランティア** です。毎年、社会人・学生・主婦・シニアなど幅広い年齢層の述べ 500 人もの方々が登録を行い、黄色のボランティアユニフォームを着て活躍しています。

BRIDGE KIDS PROGRAMS を支える人々について

APCC のすべての事業は、ボランティアによって運営されています。もちろん『ブリッジ チャレンジトリップ』を支えているのもボランティアです。この他に、『NPO 法人 アジア太平洋子ども会議・イン福岡 (APCC)』の専従職員がコーディネーターとして事務局に常駐しています。各コーディネーターは、担当部会のボランティアメンバーと協力しながら、事業が円滑に進むよう取り組んでいます。



1. ブリッジ チャレンジトリップについて

ブリッジ チャレンジトリップは、APCC 春の派遣事業として 1994 年に『ミッションプロジェクト』としてスタートした事業で、第 31 回事業年度から名称が現在の『ブリッジ チャレンジトリップ』に変わりました。福岡の子ども達が日本の代表として世界中の国・地域を訪問し、ホームステイなどを通じて異なる国の文化・風習を体験します。このプログラムを通じて、子ども達が福岡と世界中の人々との友情を育み、「世界平和を願う国際感覚あふれる青少年」となることを目的として行われています。

2. ブリッジ チャレンジトリップの運営

ブリッジ チャレンジトリップ（以下：チャレンジトリップ）は、チャレンジトリップ部会の APCC ボランティア・引率者・旅行会社・現地窓口機関・APCC 事務局コーディネーターと一緒に協力して運営を行い、事業を創り上げていきます。

3. チャレンジトリップ部会

APCC ボランティアのうち、チャレンジトリップ参加者対象の事前説明会や各研修・式典を企画・運営をするグループのことです。この部会に所属するボランティアは、引率経験者が多く、過去の体験を踏まえて、団員や引率者のサポートを行います。

★定期的に「部会」と呼ばれるミーティングが開催されます。（日程は P.2 参照）

部会には、可能な限り出席をお願いします。出席が難しい場合は、必ず他の引率者 2 名と連携を取り、情報共有の徹底をお願いします。

実行委員長	山下 雅之	
担当副実行委員長・部会長	児玉 工	
副部会長	内丸 賢一	サポート：モルディブ団
	山室 透	サポート：シンガポール団
	井上 慶一	サポート：モンゴル団
	正木 優果	サポート：韓国団
事務局担当コーディネーター	岡本 光	海外窓口・旅行手配担当
	高橋 真由	部会運営担当

4. 現地窓口機関、旅行手配について

APCC のカウンターパートであり、ホストファミリーの選定から旅程の作成、現地でのコーディネート全てを請け負います。主に教育省や市役所など、公的機関の場合が多いです。

また、当該事業における旅行手配は、西鉄旅行株式会社、株式会社 JTB が行き、派遣先によって下記の通り旅行会社が異なります。

* 現地旅行代理店の情報は、出発前にお渡しします。

派遣団	現地窓口機関	(窓口)各担当者	ブリッジクラブ有無	旅行会社
韓国	LABO KOREA	Irene Kim(Ms.)	○ ※活動少	JTB(志村・西園)
シンガポール	The Japanese Cultural Society, Singapore	David Chow Tai Wei(Mr.)	○ ※活動少	西鉄旅行(松田)
モンゴル	The Children's Palace of Mongolia	Tsengelmaa Byambabaatar(Ms.)	○ ※活動少	西鉄旅行(松田)
モルディブ	Ministry of Education	Ahmed Naseem (Mr.)	○	JTB(志村・西園)

※担当者は変更になる可能性があります。 *ブリッジクラブについては P.35 参照

5. 引率者の仕事概要

チャレンジトリップでは、こども（団員）が主役です。

引率者（団長、副団長）は出発前の研修ではホームステイに必要な準備などを教え、現地では十分に交流できるようサポートします。また、安全・健康管理に十分に注意し、チャレンジトリップを遂行する任務にあたります。

事前研修での団員への指導、派遣期間中のフライトの乗り継ぎや、現地での窓口とのスケジュール確認など、団長・副団長が協力してどのように動くか、何をしたらいいかなど相談して決めます。

引率者の皆さんは、参加者であり、またボランティアスタッフでもあります。こども達がいい体験ができるよう、受身ではなく積極性をもって活動していきましょう。

こども達から見る引率者は、一言で言うと『先生』です。口先だけで指示をしたり、団を動かしたりするのではなく、全身をフル活用し、率先して前に出て、こども達を叱咤激励してください。チャレンジトリップでの体験が、未来の地球市民育成に繋がるということを目標に、やりがいをもって取り組んでいきましょう。

引率者はこども達だけではなく、保護者の前に立ち、話をすることが多々あります。明確な規定はありませんが、**指導者としてふさわしい服装**を心がけて研修に参加しましょう。（APCC ポロシャツ着用必須）
なお、学生であっても、保護者からは同じ『引率者』として見られるため、引率者として相応しい行動をとるように心がけてください。

6. 派遣団の構成

派遣先ごとに「団」が編成されます。

全体をとりまとめる団長 1 人と副団長 2 人の合計 3 人が引率者として各団につきます。団員は小学 5 年生から高校 3 年生までの約 15 名で、各派遣団は約 18 名で構成されます。各団には、出発前後の研修をサポートする『サポートスタッフ』がつきます。

★団長 1 名

団の指揮をとります。また、団の活動における最終決定権は団長にあります。

団員の保護者との連絡は団長がメインで行いましょう。

★副団長 2 名

団長をサポートし、協力して団をまとめます。

団長不在時には団長の代わりとなって団を取り仕切ります。

★団員 15 名程度

海外ホームステイを体験する小学 5 年生から高校 3 年生を「団員」と呼びます。

各団約 15 名が一般公募で選ばれ、各派遣先で異文化交流にチャレンジします。

★サポートスタッフ 2～4 名程度

派遣先へは同行しませんが、出発までの行事や研修を引率者と一緒に考え運営します。

引率者のサポートなども行い、子ども達の派遣がよりよいものになるように協力します。

※サポートスタッフが派遣期間中に現地に行き、団と行動を共にすることは**禁止**しています。

※サポートスタッフの他に、各団の『担当副部長』を決めています（P6 参照）。必要に応じて、困ったことがあれば気軽に相談してください。なお、日程の確認や事務的な事項についてのお問い合わせは事務局へご確認ください。

7. 活動をより円滑にするためのルール

○連絡・集合時間・提出物の締め切りは、必ず守りましょう。

○連絡の方法は、相手にとって分かりやすいか一度考えてみましょう。

★事務局にメールを送る場合

→件名あるいは本文に『団名・団長/副団長・名前』を必ず記載すること

APCC ボランティアには約 500 名の方が登録しているため、名前の記載がないと大変困ります。

※急ぎの要件の場合は電話で連絡しましょう。

分からないこと、困ったこと、不安なことがあれば、サポートスタッフや APCC 事務局にご相談ください。
一緒に協力して解決していきましょう！

8. APCC 事務局を利用する際の注意点

- APCC 事務局は平日 10 : 00 ~ 18 : 00 まで開いています。尚、ミーティングなどを行う場合には、必ず 21 : 00 までに退館してください。
※庁舎の出入りができなくなります。
- 平日 18 : 00 以降、また土日祝日は事前の申請がない場合、APCC 事務局の利用はできません。当該時間に事務局の利用を希望する場合は、1 週間前までに事務局へご相談ください。
- 庁舎の駐車場・駐輪場はご利用いただけません。自動車や自転車でお越しの際は近辺の駐車場・駐輪場をご利用ください。
- 事務局を利用する際は他の職員の方に迷惑が掛からないよう、廊下で騒いだり、大きな声で私語をしたりすることのないよう心掛け、笑顔で挨拶をしましょう。
- 事務局を利用した際には、ゴミは持ち帰り、使用した備品等は元の場所へ返却してください。
- 庁舎の正面玄関から入った場合、エレベーターは 4 階までしか上がりません。事務局にお越しの際は、職員用出入り口から入った先のエレベーターをご利用ください。

APCC 事務局への入り方



9. 写真・SNS の取り扱いルール

参加者がチャレンジトリップに安心して参加できるように、チャレンジトリップ部会として以下の内容を方針として定めております。

【方針】

チャレンジトリップを安全に遂行するために、SNS（LINE, Instagram, Facebook, X(旧 twitter)などのソーシャル・ネットワーキング・サービス）上に、派遣先での活動時期、第三者が団の行動を予測できるような情報を掲載することを禁止します。

※特に海外で日本の子ども達が集団で行動する際に、悪意ある個人や組織に狙われないようにするための取り決めです。

【引率者・団員・保護者への依頼事項】

- 派遣前～帰国までは SNS（LINE, Instagram, Facebook, X(twitter)などのソーシャル・ネットワーキング・サービス）上に事業の様子を掲載することは禁止します。
特に出国前や海外渡航時など、行動予定が推測できる情報発信は一切行わないでください。
- 派遣中に引率ボランティアからの情報発信は原則として行いませんのでご理解ください。
(現地到着時の報告などは事務局が各団の専用 Gmail アカウントから保護者の皆様へお伝えします。)
ただし、緊急時等に APCC 事務局から保護者への連絡をお願いする場合がございますので、その場合にはご対応ください。
- お子様のなかにも日常的に SNS を利用されている方が多いと思います。
上記の内容について保護者の方から各ご家庭でお子様にもお話いただき、ルールを守っていただきますようお願いいたします。

【個人情報保護の観点において以下のルールを守ってください】

帰国後、本人以外の人物が写っている写真を SNS に投稿する際は、必ず写っている人全員から事前に、写真の公開についての承諾を取得してください。

SNS におけるトラブルに関して APCC は一切責任を負いません。

※なお、APCC 公式撮影ボランティアスタッフや APCC が取材を許可した報道機関によって撮影された写真につきましては、保護者同意書に記載のとおり APCC の公式な広報活動にて使用することがあります。

※現地窓口機関への共有内容は、P. 28 参照

10. 国旗の取り扱いについて

【共通ルール】

APCC での活動中は、国旗を使用しない

ルールに至る経緯

外務省から APCC 事業に名義後援を毎年もらっているが、その中で「台湾の国旗は使用しない」旨、注意を受けています。（下記、外務省からの注意事項参照）

- 外務省からの注意事項

台湾の国旗だけを使わないという事はできないため、APCC として全ての国旗を使用しないことに決定（入国時に撮影した団集合写真に、こども大使達が掲げた旗が掲載されたことがある）。

国旗は国の歴史が背景にあることが多くデリケートなもの。台湾だけでなく、ニューカレドニアからもバックグラウンドから国旗について意見があった。相互にとって誤解を招く原因ともなりえるものである。

ルールの適用範囲

APCC として作成するもの、APCC が行なうイベントでの利用。

参加者が各自で準備するもの（お土産やパフォーマンス内容）や催し物などについては、APCC で制限することは難しい。そのため、APCC ルールの理由を説明した上で、各自の責任の下判断してもらう。（下記に具体例を記載）

NG なもの

- ・パフォーマンスイベントでの飾りつけ
- ・チャレンジトリップ派遣団の団土産
- ・チャレンジトリップ報告会でのパワーポイント、ポスター、衣装
- ・APCC が作成する名札や名刺 etc.

各自判断のもの

- ・個人で準備したお土産
- ・ホストファミリーや行政窓口が独自で主催するウェルカム/フェアウェルパーティ
- ・個人で準備する名札や名刺 etc.

11. 団員保護者との連絡手段

団員保護者とは、APCC が作成した団専用の Gmail アカウントを使用し、引率者が直接連絡を取ることが可能です。

各団の Gmail アカウントの ID 及びパスワードは、APCC 事務局にて各団の全団員分のメールアドレスの登録が終わり次第、随時メールでお知らせいたします。

なお、トラブルを防ぐため、研修から派遣期間中に団員保護者と連絡を取るのには、【団専用 Gmail のみ】とさせていただきます。また、全プログラム（全体研修～報告会）が終了するまで、引率者と団員本人が LINE 及び SNS を含む連絡先を交換することは認めておりません。引率者と団員本人が個人的に連絡を取ることによって生じたトラブルに関して、APCC は一切責任を負いませんので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。
★Gmail の詳しい使い方と注意点は P.31 参照

<今後の流れ>

- ・1/21(日)……………全体研修会にて団員保護者へ Gmail アドレスを共有
当日中に保護者から各団の Gmail アドレス宛てにメールが届く
- ・1/22(月)……………APCC 事務局が団員保護者のアドレスを登録
- ・1/23(火)……………団員保護者へ送信テスト
- ・1/24(水)……………送信不良の場合の連絡
- ・1/25(木)……………送信不良がない団は事務局から引率者に使用スタート OK の連絡

12. 研修の目的

チャレンジトリップではホームステイをする前に全体研修会・国別研修会・宿泊研修会・結団式と、4 回の研修を計画しています。研修は、こども達（団員達）を安全に海外に派遣できるように、そして現地で充実した国際交流が出来るように、APCC の理念や目的などに沿って組まれています。また、帰国後にも、報告会を含め 2 回の研修を行っています。

<主な目的>

1. 派遣中の安全・健康確保

- ・集団行動の習得
- ・団員同士の絆を強化
- ・意識・意欲の向上

2. 成果(きっかけ・気付き)の最大化

- ・効果的な交流方法の習得
- ・自己紹介アルバムの作成
- ・講話や調べ学習を通して派遣先の知識を深める

3. 現地プログラムの準備

- ・パフォーマンスの練習
- ・テーマソングの練習

注意事項

APCC が設定している研修以外で、団で集まり、研修を行うことは控えてください。

団員決定後に募集要項に記載のない研修が増えると、団員・保護者からのクレームに繋がる可能性があります。また、一部の団のみ研修を増やすことで、それ以外の団の団員・保護者に不安を与えることもあるので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

13. 国ごとに実施する研修について

各研修では、国ごとに分かれて研修を行う時間を設けています。その中でこども達に対して研修を行うのは引率者であり、内容から時間配分まで引率者に計画を立てて実施していただきます。下記は各研修における国ごとの研修時間と研修内容に組み込んだ方が良いでしょうと思われる内容です。

※下記の他にも取り入れたい内容があれば、組み込んでいただいても構いません。

【各研修会での国ごとの研修時間】

研修	日程	国ごとの研修時間
全体研修会	1月21日(日)	2時間20分間
国別研修会①	2月4日(日)	2時間30分間
宿泊研修会	2月23・24日(祝金・土)	8時間40分間
結団式	3月10日(日)	2時間
国別研修会②	4月14日(日)	2時間30分
報告会	4月28日(日)	リハーサルのみ

※国ごとの研修時間は、変更になる可能性があります。

【研修内容】

項目	内容
自己紹介 ※必須	少ない研修の中でチームワークを高めるために、ゲームなどを通して仲を深める
調べもの学習 ※必須	団ごとに決めたテーマについて団員が学び、共有する *全体研修団員へ事前課題が出され、2月の国別研修で回収し、宿泊研修1日目に団ごとに『課題レポート冊子』を作成する予定。作成した『課題レポート冊子』は、国別研修で活用してよい。
スピーチの練習 (日本語・外国語) ※必須	*スピーチが必要になるタイミングの例 ・出発式 ・現地到着時 ・大使館(領事館)訪問 ・ウェルカムパーティー ・フェアウェルパーティー ・学校訪問 等 ・国内での研修 *宿泊研修、結団式、報告会等 ※現地では派遣先によってパフォーマンスを行う場面は異なります。旅程が固まり次第、APCC事務局よりご連絡します。

項目	内容
自己紹介アルバム作り ※必須（宿題）	ホストファミリーとの交流ツール *見本は研修会または部会時にお見せします。
現地で披露するパフォーマンスの練習 ※必須	現地で披露するパフォーマンスは、原則『 <u>ソーラン節</u> 』です。 ただし、ソーラン節以外のパフォーマンスを行いたい場合は、 <u>全体研修までにパフォーマンス案を提出していただき、APCC、そして日本の代表として披露する上で問題ない内容であれば、許可します。</u> 注意 ①団によっては国内活動費で法被（衣装）等を購入していますので、団内で検討してください。 ②パフォーマンス内容の過度な追加は、場所、時間、人員の確保など、現地窓口にも多大な迷惑をかけてしまいますので、配慮が必要です。 ③ソーラン節などパフォーマンスやお土産等で必要な荷物等は、個人のスーツケースに収まる範囲の要領・大きさに留めてください。航空会社によって荷物の受託許容範囲は違いますが、超過した際の追加料金の支払いなどについては、APCC は一切責任を負いません。
テーマソングの練習 *We are the BRIDGE ※必須	ホストフレンドやブリッジクラブのメンバーも知っている APCC のテーマソング『We are the BRIDGE』（P.36 参照）は、派遣先で必ず一度は歌う機会があります。英語で歌えるように練習しておく、現地でも一緒に感動を味わえます。 また、報告会では引率者の皆さんも団員と一緒に壇上で合唱する予定です。
お土産作り ※推奨	現地窓口機関や日本国大使館、ブリッジクラブ、学校などを訪問する時にお土産を贈ると喜ばれます。 例) 絵付けした提灯、折鶴で作った飾り、カレンダー、団員が書いた日本の絵（写真）、メッセージを書いた法被 など 注意 P.11 国旗の取り扱いについてをご確認ください。
コミュニケーション能力をつけるための研修 ※推奨	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェスチャーゲーム ・外国語の練習 ・お土産作り *下記、参考例参照
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・懇親会 ※任意 過去には、バイキング形式や現地の食事を体験できる飲食店等で行う保護者を交えた任意の懇親会などを企画した例もあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊研修時に行う、“入国審査”の練習とフォロー ※推奨 2月23日・24日に行う宿泊研修にて、“入国審査”の練習を行いますので、事前に練習、終了後に復習をしておくことをお勧めします。

14. 各研修・式典のスケジュール及び内容について

※各研修会の内容については変更の可能性があります。

① 全体研修会 1月21日（日）@中村学園大学 1号館 10階大講義室

目 的 : 団員との顔合わせ

時間	内容		備考
11:00	ボランティア・引率者集合 →各担当に分かれて打ち合わせ・準備 12:00 場外スタンバイ 12:15 場内・受付スタンバイ		※必要物品 ・マイク ・スクリーン ・プロジェクター ・受付用机
12:30	受付開始・開場		
13:00	開会		
	実行委員長挨拶		
13:05	APCC 事業紹介		
13:15	APCC チャレンジトリップについて		
13:20	引率者自己紹介		
13:35 (30分)	遠入先生 講話		
14:05	閉会		
14:05 (20分)	団員、引率者、サポートスタッフ移動 * 休憩含む		
14:25(140分)	【団員】 国別研修開始 @各教室	【保護者】 保護者全体説明会 @講堂 ※14:40~15:25(45分間)	※各教室 30席程度 ※各教室にホワイトボードあり
	保護者 国別研修 合流 ・自己紹介 ・旅行会社からの説明 ・課題について 【旅行会社説明 5分程度】 ※国により異なります。		
15:30	保護者 国別研修 合流 ・自己紹介 ・旅行会社からの説明 ・課題について 【旅行会社説明 5分程度】 ※国により異なります。		
16:45	終了→各研修部屋片づけ		
17:00	引率者・ボランティア 集合 ※17:30 解散予定		

【団員への次回までの宿題】 (例) パフォーマンス・We are the BRIDGE を覚えてくる

【国別研修会①への向けての準備】 (例) メンバーの顔と名前を覚える

② 国別研修会① 2月4日（日）@中央市民センター

目 的 : 団員との絆を深める

時間	内容	場所
10:00-11:30 (90分)	集合 → 部会	第1会議室
11:30	昼食 ※昼食終了後は国別研修の準備	第1会議室
13:00 (60分)	リーダー(高校生団員)研修	視聴覚室
14:15	道具配布 ※集合したところから開始	第3会議室
14:30 (150分)	各団で決めた内容を実施。	第1会議室 第2会議室 視聴覚室 実習室 音楽室
17:00	道具返却。 →返却次第解散。	第3会議室

【団員への次回までの宿題】（例）自己紹介アルバムを完成させてくる

【宿泊研修への向けての準備】（例）宿泊研修の中の団毎の研修内容を精査

③ 宿泊研修会 2月23日(祝金)・24日(土) @海の中道 青少年海の家

目的：現地を意識した行動模擬を実施する

時間	内容	場所	備考
2月23日(祝金)			
9:20	ボランティア・引率者集合 全体ミーティング(出欠確認/諸連絡)	福岡市役所 議会棟玄関	
10:00	団員集合	議会棟玄関	・健康チェックシート回収
10:10-10:20	出発式 部会長挨拶/引率者挨拶/諸連絡	議会棟玄関	
10:20-10:50	移動シミュレーション A ・各団、チケットに記載のバスに乗車する ・バス出発時間 1号車 10:40 2号車 10:50	議会棟玄関	
11:40-12:20	海の中道青少年海の家到着 入館式・諸連絡	オリエンテーション ホール	
12:20-12:30	移動シミュレーション B ・入国審査 シミュレーション(1人ずつ)	オリエンテーション ホール	・ゲート4カ所設置 ・荷物は置いたまま食堂へ
12:30-13:30	昼食	食堂	
13:30-15:00 (90分)	研修① <国別研修>	各研修室	
15:15-16:45 (90分)	研修② <国別研修>	各研修室	
17:00-17:10	タバのつどい・諸連絡	つどいの広場	
17:10-18:10	夕食	食堂	
18:30-20:00 (90分)	研修③ <国別研修>	各研修室	※夕食後から使用可能

20:10-22:00	入浴 （引率者もこの時間で利用） 20:10-20:30 ①（リーダー） 20:30-20:50 ② 20:50-21:10 ③	大浴場（女） 中浴場（男）	・ドライヤーは脱衣所と各部屋で1台使用可能。 ・移動が屋外のため、寒さが厳しい場合には入浴しなくても良い。 ボランティアは団員入浴後に入浴。
20:50-21:50	リーダー研修 ※引率者参加不可	談話室	・引率者：就寝指導。 ・団員就寝 22:00
21:30-22:00	サポートスタッフミーティング	談話室	
22:00-22:30	引率者ミーティング	談話室	・サポートスタッフ：見回り
22:30-23:00	各団ミーティング （引率者＋サポートスタッフ） ※ミーティングの実施は任意。	談話室	・スタッフ 23:00 就寝

2月24日(土)			
6:30	起床・検温 ・健康チェックシートに記入 ・異常ありの場合事務局携帯へ連絡	宿泊棟	
7:00-7:10	朝のつどい・諸連絡	つどいの広場	
7:10-8:10	朝食	食堂	
8:10-8:30	掃除	宿泊棟	
8:40	退所点検		
9:00-10:30 (90分)	研修④ <国別研修>	各研修室	
10:45-12:15 (90分)	研修⑤ <全体研修>	各研修室	
12:20-13:20	昼食 ・食堂に入る順に並んで待機	食堂	
13:20-14:30 (70分)	研修⑥ <全体研修> ・発表会(4団×5分=20分) We are the BRIDGE 合唱	オリエンテーション ホール	報告会の We are the BRIDGE 合唱はステージ上をイメージして各団2列、背の順に並んで歌うのでその並びも決める
14:30-14:40	退所式・諸連絡 ・挨拶(団員・職員) ・諸連絡	オリエンテーション ホール	
14:50-15:10	移動シミュレーション C ・バス出発時間 1号車 15:00 2号車 15:10		
16:00-16:10	福岡市役所 議会棟到着 ・各団にて諸連絡後、団員は解散	福岡市役所 議会棟玄関	解散報告をしてください
16:45	全体ミーティング	福岡市役所 議会棟玄関	

【団員への宿題】(例) 個人お土産作成

【結団式への向けての準備】(例) 現地でのあいさつの割り振りを考える

④ 結団式 3月10日(日) @中央市民センター

目 的 : 派遣本番に向けた団全体の盛り上げ

	時間	内容		場所
	9:00	ボランティア集合／出席確認 会場準備		ホール前
国 別 研 修	10:00	国別研修 @各研修室	保護者説明会 @ホール	
	10:30	保護者合流 【ステージ利用時間（パフォーマンス披露）】 10:40 韓国団 11:00 モンゴル団 11:20 モルディブ団 11:40 シンガポール団		各研修室
	12:00	各団研修終了		
結 団 式	12:00	開場		ホール
	12:30	開会 実行委員長挨拶		
	12:40	BCJより（BCの紹介含む）		
	12:50	団員代表決意表明		
	13:00	引率者代表挨拶		
	13:05	閉会		
	13:06	ボランティアプロモーション部会より		
	13:45	片付け・撤収		

【団員への宿題】

(例) スピーチを考えてくる

【出発への向けての準備】

(例) 引率者ガイドライン P. 28～30 確認

(例) 引率者ガイドライン 現地 Ver. P. 39～ 確認

⑤ 派遣本番 3月27日(水)～4月2日(火)

*詳しくは引率者ガイドライン現地 Ver. P. 39～参照

団員の安全、健康に気を配る

派遣中・移動中に余裕があれば…

報告会のイメージづくりを行っておくと帰国後、スムーズに研修を行うことができます。

⑥ 国別研修会② 4月12日(日) @あいれふ

目 的 : 報告会向け資料の完成・発表の練習

時間	内容	場所
12:45	プレメンバー 集合	第3会議室
13:00 (60分)	部会	視聴覚室
14:15	道具配布 → 集合したところから開始。	第3会議室
14:30 (150分)	各団で決めた内容を実施。 【共通項目】 ・報告会の連絡 ・報告会の準備 ・現地での課題回収	第1会議室 第2会議室 視聴覚室 実習室 音楽室
17:00	道具返却。 →返却次第解散。	第3会議室

【団員への宿題】 (例) 発表の個人練習

【報告会への向けての準備】 (例) PC 資料の大枠作成
(例) 使用する写真の集約

⑦ 報告会 4月28日(日) @中央市民センター

目 的 : 現地での体験をたくさんの人に伝える

時間	内容	備考
8:45	運営スタッフ集合・搬入	
9:00	ボランティア集合・ミーティング	
9:30	会場準備	機材周辺
9:45	団員集合(入場開始)	
10:10	全体リハーサル	
10:50	各団リハーサル(各団10分)	【更衣室】 10:50~15:45 (報告会中は使用不可)
11:30	挨拶関係リハーサル	
12:00	会場準備	
12:30	全体受付開始・開場	【昼食】 12:20までに済ませる
13:00	開会、実行委員長 挨拶	山下実行委員長
13:04	来賓紹介、来賓代表挨拶	
13:08	団員代表挨拶	
13:12	引率者代表挨拶	
13:16	団ごとの発表(4団×10分)(登壇・降壇含む) 韓国団→モンゴル団→モルディブ団→シンガポール団	
13:56	遠入先生挨拶	
14:01	保護者代表の挨拶	
14:06	講評	
14:16	諸連絡	
14:26	BCJより	
14:31	We are the BRIDGE 合唱	
14:41	閉会の挨拶、写真撮影	児玉部会長
16:30	各利用会場撤収完了	

* 終了後、団員達のお別れ会として打ち上げ等を行う団もあります。

15. 国内活動費について

国内活動費とは、チャレンジトリップ渡航前後に国内での準備にかかった費用のことを指し、上限は5,000円です。

精算の際は、明細が入った領収書（レシート）が必ず必要です。

支払えるもの	支払えないもの
団全体で使用するもの 例) ・派遣先へのお土産を作る時に使う物(紙・模造紙・折り紙・シールなどの材料費) ・派遣先で披露するパフォーマンスに使うもの(衣装、パフォーマンス時に使う音源用に借りるCDのレンタル料など)	団全体での用途ではないもの 例) ・海外窓口へのお菓子などのお土産 ※窓口へのお土産は事務局で準備します。 ・国別研修などでの飲食代など
※国別研修費として支払えるものか判断に迷ったら、APCC事務局に相談してください	

【注意事項】

- ① **領収書（レシート）**は必ず取っておいてください。領収書（レシート）を発行できない場合は、別紙に明細、**サイン・日付**を書いてもらったものを受け取ってください。領収書のないものは会計処理ができませんのでご注意ください。
- ② ダイソーなど、宛名書きができる領収書もしくは明細の載ったレシートタイプのどちらかしか出せない場合は、明細がわかる「レシートタイプ」をもらってください。
- ③ 1枚の領収書が5,000円を超える場合は領収書をできるだけ分けてもらうようにお願いします。
例) 6,800円使った→5,000円と1,800円のレシートに分け、5,000円分を精算
- ④ 宛名は空白でお願いします。どうしても必要な場合は、**【NPO法人 アジア太平洋子ども会議・イン福岡】**と漢字・ひらがな・カタカナ注意して記入してもらってください。
- ⑤ 国内活動費として計上可能かどうか判断できない場合は、APCC事務局までお問い合わせください。国内での準備に関連のない費用は支払いができません場合がありますので、ご了承ください。

※国内活動費は予算内(5,000円)に収まるよう、研修内容を検討してください。万が一、計画段階で国内活動費が5,000円を超える可能性があるには、事前に別途APCC事務局までご相談ください。

※領収書原本はAPCC事務局よりメールにてお渡ししますので、ご活用ください。

16. 現地通貨の両替

<現地でお金が必要な場合>

- 団員:お土産や日本⇄現地の移動中におやつなどを購入する場合など
- 引率者:現地での食事(朝食以外)、お土産、現地でのフリータイムにかかる費用など

○韓国団、シンガポール団

日本国内での現地通貨入手が可能です。団員・引率者ともに各自で現地通貨をご準備ください。
団員のお小遣いの目安も含めて、団員保護者へのアナウンスをお願いします。

○モンゴル団

日本国内での現地通貨入手は不可能です。現地の空港等で両替を行うことは可能ですので、団員のお小遣いの目安も含めて、団員保護者へのアナウンスをお願いします。

※現地では米ドルも利用可能ですが、小規模のお店では米ドル利用不可のところもありますので、現地通貨を持つことをお勧めします。

○モルディブ団

日本国内での現地通貨入手も現地代理店を通しての両替も不可能です。
現地の空港あるいは市内で、**米ドル**から現地通貨への両替を行う予定です。
団員のお小遣いの目安も含めて、団員保護者へのアナウンスをお願いします。
※現地では米ドルで支払うことも可能です。

<補足>

機内で食事が提供されず、経由地で食事を取らなければならない場合は APCC 事務局までお声掛けください。
(現地活動費で食事代を支払うことが可能な場合があります。)

17. 携帯電話の海外ローミング設定について

派遣先での緊急連絡用のため、引率者 1 名の携帯電話を団代表連絡先にさせていただきます（* 団長が望ましい）。使用用途としては、緊急時に APCC 事務局・現地窓口担当者・各在外公館の担当者と電話にて情報共有を行うためです。緊急時に電話連絡で要した通話料に関しては、後日 APCC から通信費として清算させていただきます。

※電話連絡は、あくまで緊急の時のみの利用をお願いいたします。

特に窓口とは、できる限り前日に次の日の予定や集合場所の打ち合わせをするようお願いいたします。

【注意事項】

- ① 誰の携帯電話を団代表連絡先にするか決め、海外ローミングの設定をお願いします。詳しい設定に関しては、各携帯電話会社にお問い合わせください。
- ② 派遣先では、必ず繋がるようにしておいてください。
- ③ APCC に提出した緊急連絡先は、今後、変更しないようにお願いします。
- ④ メール・インターネット・現地 SIM カードの使用に関しては対象外となります。
- ⑤ 帰国後は、携帯電話会社からの明細を提出していただき、該当する通話部分のみ精算させていただきます。

補足) チャレンジトリップは外務省を通して各派遣先の在外公館にサポート依頼をしています。外務省及び在外公館には、派遣団の名簿に加え、該当者の連絡先を提供しており、派遣中は外務省または在外公館の担当者より直接連絡が入る場合もあります。

補足) 派遣期間中は、現地窓口の担当者と協力して団員のサポートを行います。そのため、現地窓口の担当者と合流した時点で、担当者との連絡手段をご確認ください。

18. 最終確認会

結団式終了後～出発までの間の日程で、団ごとに APCC 事務局にて最終確認会を行います。
候補日は後日事務局よりご案内しますので、希望の日にち・時間帯を引率者同士で話し合ってお決めください。*引率者 3 名の参加が必須

所要時間は約 1 時間で、主な内容は、現地活動費(交通費・通信費)についての説明、APCC 事務局が用意する現地窓口や大使館へお土産について、団員のアレルギー情報やホストファミリーの情報、親書等のお渡し、緊急時の連絡体制についての説明、現地スケジュールについての確認などを行います。

現地活動費や医療バッグのお渡しがありますので、金銭管理担当者と保健担当者を事前に決めておいてください。

最終確認会

【日時】3月_____日 _____ : _____ より

【場所】APCC 事務局

金銭管理担当者：


保健担当者：

パスポート原本管理担当(現地にて)：

なお、引率者の現地ホテルは朝食付きですが、昼食・夕食に関しては自己負担となります(団員全員と行動時は除く)。ご自身でアレンジをお願いします。

また、団員と一緒に行動をしていないときでも引率者は緊急時に連携してすぐ動けるよう、必ず三人一緒に行動をしてください。

19. 出発までに準備すること

	内容	担当者	備考
1	現地スケジュールの確認		
2	現地の警察・救急車などの電話番号を調べる		
3	大使館・病院・ホテルの場所を地図上で確認		
4	たびレジの登録		最終確認会時に説明予定
5	外務省 HP 「海外安全 虎の巻」(海外での安全に関する資料)の確認		
6	必要書類の準備・確認		
7	団員のアレルギーの有無などを確認		
8	パスポートのコピー	各自	

20. 現地窓口機関に伝えていること

現地窓口には、チャレンジトリップ実施にあたり、以下のことをお願いしています。
必要に応じて、派遣先にて現地窓口担当に再度リマインドしてください。

1. ホストファミリーへの引き渡しの際は、指定されたホストファミリー本人であるか十分に確認してから引き渡してください。
2. 日本の子ども達には現地で調べる課題シートを持ってくるため、子ども達あるいはホストファミリーが質問や回答に困っている時はサポートをしてください。
3. ミネラルウォーターをできるだけ準備してください。
4. 団員が体調不良になった場合は、まずは団長に連絡してください。
無断で団員を病院で受診させたり、薬の投与をしないでください。
5. 現地到着日は団員が大変疲れているので、休ませることを第一優先にして下さい。
6. 生ものは控え、加熱処理されたものを食べさせてください。
7. 日本の子どもは辛いものは苦手です。
特に、香辛料の強い国では控えめな味付けをお願いします。
8. 絶対に日本の家族からの国際電話は取り次がないでください。Skype なども厳禁です。
* 日本にいる家族と電話で話すことで、ホームシックにかかってしまう場合もあります。

7. 写真・SNS の取り扱いについて

テロなどの反社会的勢力の脅威により、APCC はチャレンジトリップに関する情報発信について、ルールを定めています。チャレンジトリップでは、派遣団が無事に日本へ帰国するまで、チャレンジトリップに関する写真や全ての情報（現在・未来）を、Facebook やその他の SNS サイトに掲載することを禁止します。これは悪意ある個人や組織に派遣団が狙われないようにするためです。

チャレンジトリップ終了後、本人以外の人物が写っている写真を投稿する際には、必ず相手の了承を得てください。特に、子ども達の写真の取り扱いには注意を払い、ホストファミリーやブリッジクラブのメンバーにもこのルールを共有してください。

また公式に写真を使用する場合も、個人が特定されないような集合写真を使用するようにお願いします。個人が特定されるような写真を使用する場合は、必ず相手の了承を得るようお願いいたします。

21. 引率者の携行品

- 団員の情報（パスポートコピー・医療シート・保険情報まとめ等）
* 最終確認会で配布予定
- ボランティア黄色ポロシャツ
- 引率者ガイドライン
- 自分用の常備薬
* APCC 事務局からは絆創膏やマスクは準備しておりますが、薬については団員・引率者ともに、普段飲み慣れている常備薬を持っていくようにしてください。その他、スポーツドリンクの粉などがあると便利です！
- 現地活動費、領収書（レシート）
* 現地活動費を使用した際は、必ず領収書（レシート）を発行してもらい、帰国後、事務局に提出してください。レシートがないものは会計処理ができませんのでご注意ください
- APCC 理事長からの親書 * 最終確認会で配布予定
- 現地窓口、大使館・領事館へのお土産（APCC が準備したもの）
* 最終確認会で配布予定
- 海外ローミング済み携帯電話(担当者のみ)
- APCC の手旗（希望者のみ）
- 活動記録冊子

《持って行くと便利なもの》

- 団員のパスポートを入れる袋（ジップロック等）
* グループ毎に分けて保管できるようにいくつか袋があると便利
- 荷物（スーツケース）の目印タグ用リボン（団全員分・目立つ色のもの）
* 同じ目印をつけておくと手荷物受取所で荷物を降ろす時に便利
- 折り紙・あやとり糸 * とっさの交流や団員がコミュニケーションに苦労している時があると便利
- 針と糸、安全ピン、ジップロックの袋
- パックごはん * 食事が合わなくて元気のない団員におにぎりを作ってあげると良いかも
- ポカリやアクエリ等の粉末タイプのスポーツドリンク * 水が合わない団員用

22. 出国

1	福岡空港集合 ※国際線か国内線か要確認 引率者集合(____ : ____)、団員集合(____ : ____)
2	団員の出欠・体調確認、パスポート回収
3	点呼
4	出発式 ・団員代表挨拶 ・引率者代表挨拶 ・旅行会社より ・事務局より諸連絡
5	集合写真撮影 ※写真撮影後、保護者は団員を見送る
6	航空会社カウンターに移動、チェックイン
7	セキュリティゲートへ移動、出発

福岡出発時は、団員に APCC ポロシャツを着用にて集合するように伝えてください。
(出発前に写真撮影を行います。)

ただしセキュリティゲート通過後に着替える必要があるため、APCC ポロシャツの下に何か着ておくか、着替え・もしくは上から羽織るものを持って来るように伝えてください。

23. 帰国

1	到着ゲートを出たら、到着ロビーの端に集合
2	帰国式 ・団員代表挨拶 ・引率者挨拶 ・事務局より諸連絡
3	集合写真撮影
4	解散

体調不良者がいる場合は、福岡空港到着後、すぐに APCC 事務局緊急連絡先へ連絡をお願いします。

24. Gmail の使い方と注意点

【注意事項】

- ・ 送信時刻には気をつけましょう。
 - ・ 個人情報の流出には気をつけましょう。
 - ・ 団員保護者、全員に一斉メールを送る際には必ず **BCC 機能** を使って送信しましょう。
 - ・ 各団の Gmail アドレスは、引率者だけでなく、APCC 事務局も使用します。
団員保護者には、事務局宛の場合はタイトルに【APCC 事務局へ】と入れていただくようお願いをしています。また、APCC 事務局から保護者に送信するメールにも、タイトルに【APCC 事務局】と入れて送信します。
 - ・ 各団の Gmail アカウントは、次年度以降も使用する予定です。
- ※ 団 Gmail は、次年度以降も使用する予定です。
5月以降、引率者による団 Gmail の使用はできません。

1. 送信の方法を確認

送る内容によってあて名を選びましょう！

保護者の方に連絡する時は、【TO】もしくは【BCC】で送ることがほとんどになると思います。

宛先	特徴	どんな時
TO	あなたにおくっていますよの意思表示。	1 人に送る時
CC	TO の人に送ったのであなたも念のため見てください ねという意味。 *CC の人は念のための共有なので返信を基本的に行いません。	1 人に送った内容を他の人にも 周知しておきたい時
BCC	B C C で送った場合、誰にメールを送っているのか 他の人にはわからない。	複数の人へ一斉に送信する時

2. 1 人に対してメールを送る場合

①「作成」ボタンを押します。

The screenshot shows the Gmail 'Compose' screen. The '作成' (Compose) button is highlighted with a red circle. The email body contains the following text:

瞬！ワード by @nifty - 1位「年賀状 お年玉」2位「ドラマ視聴率」3位「ラブリ」(2015年1月19日 16時)

テスト送信 受信トレイ x

APCC ボランティア <volunteer@apcc.gr.jp> 16:4

To 自分

荒井友希恵です。

PCアドレス: volunteer@apcc.gr.jp

NPOアジア太平洋子ども会議・イン福岡
TEL(092)734-7700 FAX(092)734-7711
E-mail: volunteer@apcc.gr.jp

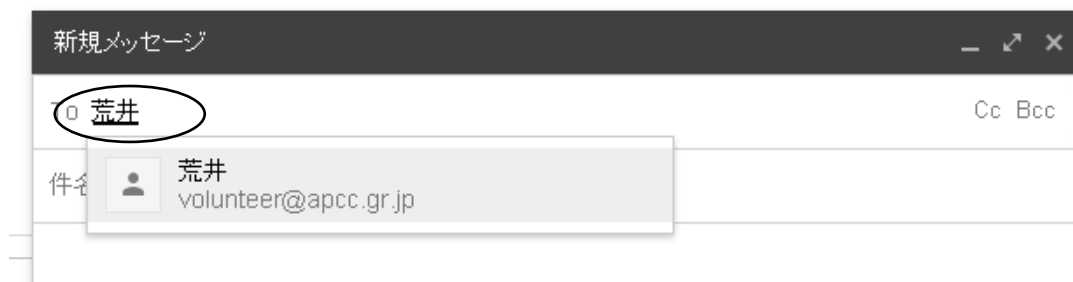
新規メッセージ

To |

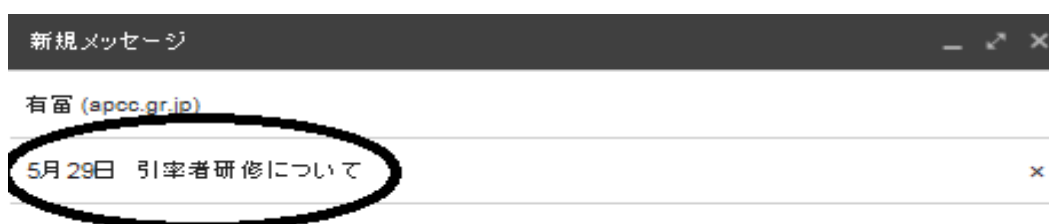
件名

②TO をクリックし、送信したい相手先のアドレスを選択する。

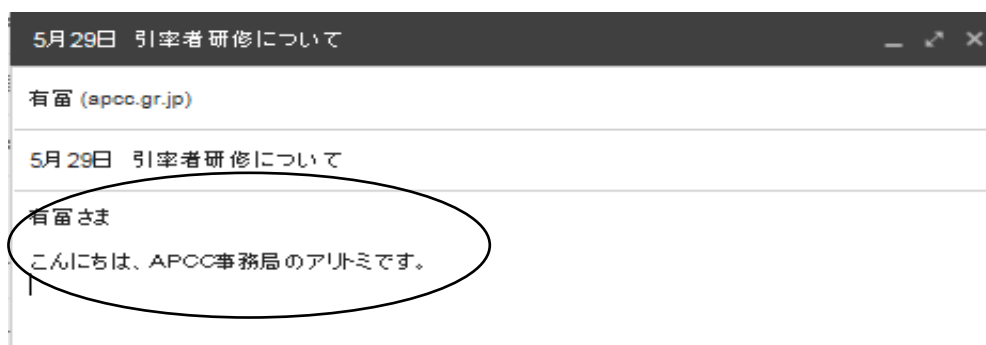
※APCC 事務局で、各団の Gmail アカウントに保護者の連絡先を登録しています。



③【件名】には必ずどういった内容が簡潔に分かるような題を入れましょう。



④本文には必ず誰がメールを送っているのかわかるように、自分の名前を入れましょう。



3. 複数の人へ一斉に同一の内容メールを送る【※重要※】

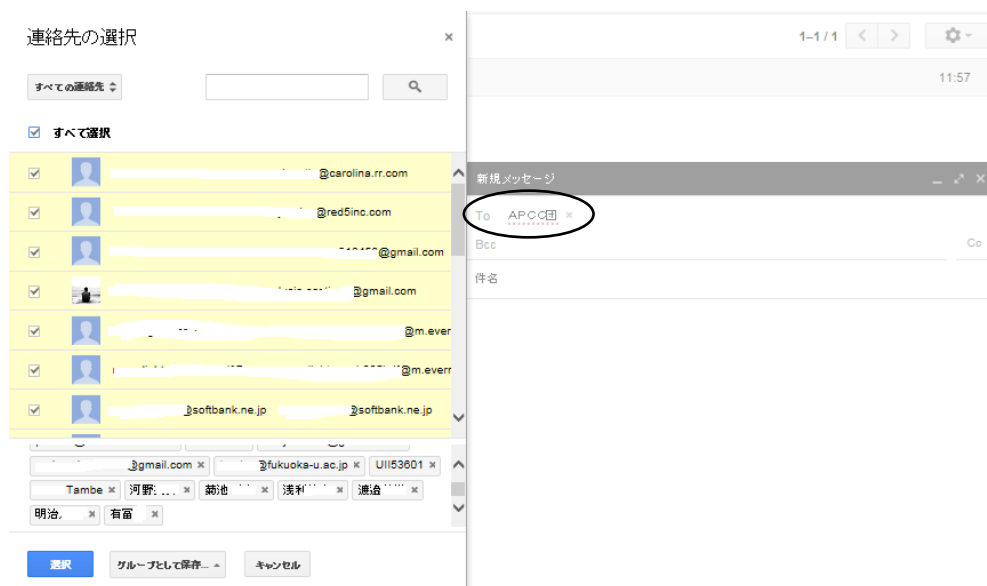
①「作成」ボタンを押します。



- ②TO をクリックし、送信元のアドレスを入れる。
(モルディブ団から送信する場合は、TO にモルディブ団のアドレスを入れる)



- ③BCC をクリックし、送信先のアドレスを選択する（複数可）。
※すべて選択を利用すると便利



- ④【1】の③④と同じ

※スマートフォンでメール作成する場合、「連絡先」の読み込みができません。
事前に、あて先だけ入れたメールを下書きとして複数作成しておく便利です。

25. 保護者からよくある質問と回答例

<研修会についての質問>

質問	回答例
宿泊研修会のバッグは、本番用のバッグ（キャリーバッグ）がいいですか？	1泊2日用の小さなもので大丈夫ですが、別に貴重品を持ち運べるショルダーバッグもご用意ください。

<派遣本番についての質問>

質問	回答例
渡航先にはどのようなバッグを携行させたいですか？	リュックは盗難の心配があるため、斜め掛けのバッグを前掛けするのをお勧めします。
スーツケースのサイズはどれくらいが大きさがいいですか？	帰りはお土産を入れるので少し大きめが良いと思います。ただし、海外では自分で荷物を運ぶことが当たり前という国もありますので、大きすぎると大変です。60L位が妥当だと思います。
お小遣いはどれくらい必要ですか？	P. 24 参照 ※お小遣いが必要になるのは、お土産やおやつや飲み物を購入する程度です。
現地に持って行くお金はどのくらいですか？	P. 24 参照 ※国ごとに対応が異なります。
APCC ポロシャツはどのタイミングで着用しますか？ (何枚用意すればいいですか？)	日本国大使館や学校訪問等のイベント時に着用します。1枚あれば大丈夫だと思います。(派遣先が気温が高い国で、心配であれば2枚持っておいても良いかもしれません)
ホストファミリーへのお土産は準備した方がいいですか？	現地のホストファミリーは、過去に各国のこども大使として、APCCに参加したことがある家庭などが、厚意で団員のホームステイを受け入れてくれているケースがほとんどです。ホストファミリーのインフォメーションシートを見て、1人1人に心をこめて何か用意すると喜ばれるかもしれません。ただし、宗教によっては、禁止されているものもありますので、特に食べ物等は注意してください。(派遣先の国について調べておきましょう。) また、ホストファミリーは直前あるいは現地にて変更になる場合もございますので、その旨もお知り置きいただいた上で準備をお願いいたします。
ホストファミリー以外にお土産などを準備した方がいいですか？	現地のこども達との交流のツールとして、折鶴や手裏剣、100円ショップで売っている和柄シール、個人での名刺を用意しておく、良いかもしれません。
携帯電話の持込について	携帯電話、タブレット、音楽プレイヤーは現地への持ち込み禁止です。カメラとして使用や時計代わりに使用したいという理由でも、持っていかないようお願いいたします。 チャレンジトリップは、現地で異文化に チャレンジする プログラムです。携帯電話やタブレット、音楽プレイヤーなど、個人で使うものを持ち込むと、何かあった時(寂しくなったときなど)に、それに逃げてしまい、記憶な交流の機会を阻害してしまいます。また、通信機器としての使用を考えていなくても、現地でホームシックになり、つい手元にある携帯電話で日本の家族へ電話してしまい、更にホームシックになってしまったケースもあります。こども達のチャレンジを応援する上でもご理解の程、宜しくお願いします。(過去のチャレンジトリップであった事例からの反省です。)

26. APCC 用語集

APCC	「アジア太平洋こども会議・イン福岡」の英語 The Asian-Pacific Children's Convention in FUKUOKA の略称
事務局	常設で APCC 運営のための事務・渉外を行う窓口 営業時間 10:00～18:00 *土日祝日・年末年始はお休みです。
BRIDGE KIDS PROGRAMS	APCC が提供するこどもたちのための国際交流事業の総称で、「BRIDGE Summer Camp (ブリッジ サマーキャンプ)」と「BRIDGE Challenge Trip (ブリッジ チャレンジトリップ)」の2つの大きな事業で構成されています。
チャレンジトリップ部会 (ボランティア)	APCC ボランティアのうち、参加者対象の事前説明会や各研修会を企画・運営をするグループ。所属メンバーは引率ボランティア経験者が多く、過去の体験を踏まえて、団員や引率者のサポートを行います。 定期的に部会と呼ばれるミーティングが開催されます。
サポートスタッフ (ボランティア)	チャレンジトリップ部会の中でも、団に寄り添い出発までの行事や研修を引率者と一緒に考え運営するメンバーを指します。こども達の派遣がよりよいものになるように協力してくれます。派遣先へは同行しません。
引率者 (引率ボランティア)	APCC ボランティアのうち、チャレンジトリップ部会に属し団長、もしくは副団長として派遣先へこども達を引率するメンバーをさします。
現地窓口機関 (LO)	APCC のカウンターパートであり、ホストファミリーの選定から旅程の作成、現地でのコーディネート全てを請け負う。主に教育省や市役所など、公的期間の場合が多いです。
ブリッジクラブ (BC)	ブリッジ サマーキャンプ (招聘事業) に参加経験のある海外のこども大使を中心に「世界の平和と共生」に向けて活動することを目的として結成されたネットワーク組織で、現在では、アジア太平洋諸国・地域に 41 のブリッジクラブが存在しています。チャレンジトリップでは、派遣先で現地窓口と協力し派遣団のサポートを行ってくれます。団員のホームステイ先はブリッジクラブメンバーの場合が多いです。
団員	チャレンジトリップで海外ホームステイを体験する小学 5 年生～高校 3 年生を「団員」と呼びます。各団約 15 名が一般公募で選ばれ、各派遣先で異文化交流にチャレンジします。 また、高校生の団員の中には「リーダー」として、団長・副団長と一緒に団をまとめるメンバーもいます。 ※「リーダー」は引率者に決めていただきます。

27. テーマソング : We are the BRIDGE

Sometimes
It's hard to make a friend
We talk
But words keep us apart
But with hope
And Love and understanding
We find we speak
The same language in our hearts

This world has room for us all
And we could be one happy family
So let's stand hand in hand
And sing our song together
And we can make it better
Wait and see

- * We are the BRIDGE of love
From heart to heart
We have a dream
For everyone to share
All our tomorrows bright and new
Starting here and now, me and you
The bridge we build
Will take us there
- ** We are the BRIDGE of love
From friend to friend
A rainbow bright
When all the rain is through
And if we listen to our hearts
Keep our eyes upon a star
Then someday soon
All our dreams will come true

Sometimes
The road may seem so long
We walk
But there's so far to go
But each step
Will take us that much closer
So don't give up
We'll be there before you know

This world is home for us all
And we could be one happy family
So let's stand hand in hand
And join our hearts together
And we can make it better
Wait and see

- ** Repeat
- And when we're lonely
And we feel a little lost
If we just care for one another
You know there are no fences
And no borders we can't cross
When we are joined together
- * Repeat
** Repeat
- And if we listen to our hearts
Keep our eyes upon a star
Then someday soon
All our dreams will come true

サムタイムス
イツ ハー トウ メーカ フレンス
ウィ トーク
ハッ ワーズ キーパサハ
ハッ ウィス ホウブ
アン ラウ アン アンダースタンディング
ウィ ファイン ウィ スピーク
ザ セイム ランゲージ イン アワ ハーツ

デイス ワールド ハズ ルーム フォーラス オール
アン ウィ クッピーワン ハッピー ファミリー
ソー レッツ スタン ハンデハン
アン シンカワ ソン トウゲザ
アン ウィ キャン メイキツ ヘター
ウエイタン シー

- * ウィ アー ダ フリージ オウ ラウ
フロム ハートウ ハー
ウィ ハーウァ トウリム
フォー エウイワン トウ シエー
オー アワ トウマーローズ フライタン ニュー
スターテイン ヒー アン ナウ、ミー アン ユー
ザ フリージ ウィー ヒルトウ
ウィル テーカス セー
- ** ウィ アー ダ フリージ オウ ラウ
フロム フレン トウ フレン
ア レインボー フライ
フエン オー サ レイン イス スルー
アニフィー リッスン トウ アウワ ハーツ
キーフ アワ アイス アボン ナ スター
セン サムティ スーン
オール アワ トウリムス ウィル カム トウル

サムタイムス
ザ ローメイ シーム ソー ローン
ウィ ウォーク
ハッ セーズ ソー ファー トウ コー
ハッ イーチ ステップ
ウィル テーカス ザット マッチ クローサー
ソートン キウ アップ
ウィル ビー セー ビフォー ユー

デイス ワールド イズ ホーム フォー ラス オー
アン ウィ クッピーワン ハッピー ファミリー
ソー レッツ スタン ハンデハン
アン ショイン アワ ハー トウゲザ
アン ウィ キャン メイキツ ヘター
ウエイタン シー

- ** くりかえし
- アン フェン ウィ アー ロンリー
アン ウィー フィーラ リトー ロースト
イフ ウィー ジャス ケー フォー ワン アナーサー
ユー ノー セーアー ノー フェンセス
アン ノー ボーダース ウィー キャントウ クロス
フェン ウィ アー ショイン トゲザ
- * くりかえし
** くりかえし
- アン イフ ウィー リッソトウアー アワ ハーツ
キーハラ アイス アボンナ スター
セン サムティ スーン
オール アワ トウリムス ウィル カム トウル

★右記リンク、もしくは QR コードから APCC テーマソングを聞くことができます。



(<https://www.apcc.gr.jp/cms/apcc/organization>)